

外来化学療法室での治療の流れ

①



化学療法当日の来院時間

化学療法 9 時予約・・・8 時 15 分

化学療法 12 時予約・・・10 時

※治療前に採血等の検査がありますので
早めに来院してください。

②



受付

自動再来器で受け付けをします 予約受付が
されると、診察券・受付票・患者呼出受診機
が出てきますのでお持ちになり移動します。

③



採血のある場合は、

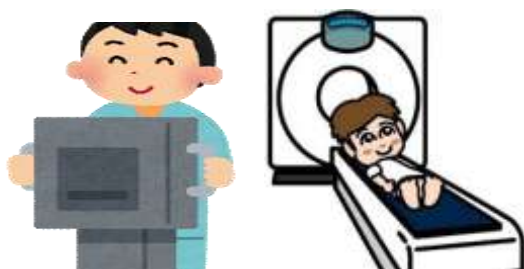
2階採血室 22 番受付

へ診察券と受付票をお渡してください。

・採血室は朝 8 時から始まります。

・血液検査の結果は 1 時間程度かかります。

④



他の検査(レントゲン、CTなど)がある場合は、

1 階 12 番受付

にて、診察券と受付票を提示し検査をお受け下さい。

⑤



検査が終了したら、

2階で診察の方は 20 番受付

3階で診察の方は 30 番受付

にて、**化学療法問診票、体温計**を受け取り、診察までの間にご記入下さい。

記入方法についてご不明な点に関しては、化学療法室の看護師へお声かけください。



⑥



身体計測を行います。

体温計以外の計測機は、2階、3階それぞれに設置してありますので各自で計測し、問診票に数値を記入してください。尚、ご自宅で計測されている方は、その値をご記入下さい。



⑦



全ての検査結果が揃ったら、医師による診察を行います。

記入済みの問診票を医師へお渡し下さい。検査の結果だけでなく、その日の体調全体を診て、治療を実施するかどうかを判断します。**病状や治療などについて気になることや、相談などは診察時に主治医へ積極的に確認しましょう。**

⑧



診察が終了したら、外来化学療法室へお越しください。

・医師のサインの入った**問診票、体温計**は**化学療法室**で回収です。

・治療が中止となった場合も、お手数ですが化学療法室へお越しください。

化学療法が終了したら・・・

①



化学療法室の専任の事務が、お会計の計算をいたします。

- ・次回の受診、検査の予定や検査についての説明が必要かを確認しましょう。
- ・退出される前に今一度忘れ物がないかを確認しましょう。

②



外来棟1階にある自動清算機、または会計2番受付にてお会計をします。

③



処方箋が出ている方は、院外薬局へお寄りください。

- ・お薬についての詳細や、わからないことがありましたら、必ず薬剤師へ相談しましょう。
- ・お薬手帳を活用しましょう。特に、**内服の抗がん剤を服用される方は、専用の手帳がありますので、お薬管理のためにも活用しましょう。**各内服抗がん剤の手帳は、薬局もしくは外来化学療法室でお渡ししています。
- ・点滴の抗がん剤のパフレットも外来化学療法室に用意しております。

患者様にお渡しする資料

「化学療法を受ける患者さんとご家族のための化学療法ガイドブック」をお渡しして、安全に化学療法を受けるための基本的な注意事項などをご説明しています。



薬剤指導の用紙など

当院が参加しているがん臨床研究情報

胃癌

「Stage III の治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としての TS-1 + Docetaxel 併用療法と TS-1 単独療法のランダム化比較第 III 相試験 : JACCRO GC-07」

「高度腹水を伴うまたは経口摂取不能の腹膜転移を有する胃癌に対する 5-FU/I-LV 療法 vs. FLTAX (5-FU/I-LV+PTX) 療法のランダム化第 II/III 相比較試験 : WJOG7312G」

「フッ化ピリミジン系薬剤、プラチナ系薬剤、trastuzumab に不応となった進行・再発 HER2 陽性胃癌・食道胃接合部癌に対する weekly paclitaxel + trastuzumab 併用療法 vs. weekly paclitaxel 療法のランダム化第 II 相試験 : WJOG7112G」

大腸癌

「抗 EGFR 抗体薬パニツムマブ投与歴のある KRAS 遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第 II 相試験 : JACCROCC-09」

「抗 EGFR 抗体薬セツキシマブ投与歴のある KRAS 遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるセツキシマブ再投与の第 II 相試験 : JACCRO CC-08」

「フッ化ピリミジン+オキサリプラチン+セツキシマブ療法耐性の切除不能進行・再発大腸癌患者に対する二次治療ティーエスワン+イリノテカン塩酸塩水和物+ベバシズマブ療法の第 II 相試験 : JACCRO CC-07」

「再発危険因子を有するハイリスク Stage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法または XELOX 療法の至適投与期間に関するランダム化第 III 相比較臨床試験」

「高齢者の切除不能・再発大腸癌に対する TS-1 隔日投与+Bevacizumab 併用療法の多施設共同第 II 相臨床試験」

「Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法または XELOX 療法における 5-FU 系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第 III 相比較臨床試験 (ACHIEVE Trial)」(募集終了)

「切除不能大腸癌 1 次治療における TS-1, irinotecan, bevacizumab 併用療法の有用性を検証する臨床第 III 相試験 (TRICOLORE)」(募集終了)

「フッ化ピリミジン系抗がん剤 (FU 等)、オキサリプラチン (L-OHP)、ベバシズマブ (BV) 併用療法既治療 進行再発大腸癌患者に対する 2 次治療としてのベ

バシズマブ併用イリノテカン(CPT-11)療法の検討」(募集終了)

「標準化学療法不応/不耐となった切除不能進行・再発大腸癌患者に対する 高用量ベバシズマブ(BV) 併用 レボホリナート・フルオロウラシル療法(sLV5FU2 レジメン)の有効性と安全性の検討 第II相臨床試験」(募集終了)

「Irinotecan、Oxaliplatin、フッ化ピリミジン系薬剤不応/不耐のKRAS 野生型切除不能・再発大腸がんに対する Panitumumab + Irinotecan 併用療法 対 Cetuximab + Irinotecan 併用療法のランダム化第II相試験：WJOG6510G」(募集終了)

膵癌

「膵癌術前化学療法としての Gemcitabine+S-1 療法 (GS 療法) の第II/III相臨床試験 (Prep-02/JSAP-05)」

「化学療法未治療の遠隔転移を有する膵癌に対するL-OHP+CPT-11+5FU/I-LV併用療法modified regimen (mFFX) の第II相試験実施計画」

医療者の皆様へ

八千代医療センター化学療法部では医療スタッフ全職種向けの「八千代医療センター化学療法マニュアル」を作成し、統一した安全な運用を行っています。月一回の化学療法安全運用委員会および実務者委員会において運用方法は常に見直され、マニュアルに反映されています。

2016年の増床の際には、**がん専門病棟**も設立される予定であり、外来のみならず病棟においてもより安全な化学療法と緩和ケア、在宅診療への移行のための体制が完備されます。がん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師も常駐し、専門施設においてスタッフ教育を行って次世代の認定看護師、薬剤師の育成を目指していきます。

化学療法部では隔月で「八千代がん治療セミナー」を開催しており院内外から専門家を招いてテーマに沿った勉強会を行っています。これには近隣の東葛南部地域の医療機関の医師やメディカルスタッフにもご案内を行い、ご参加いただいています。

2014年テーマ

第一回「乳がん」

第二回「肺がん」

第三回「化学療法患者が救急外来に来たら？」

第四回「癌治療とチーム医療」

第五回「化学療法と口腔ケア」

現在、増床に向けて医療スタッフ（化学療法科医師、看護師）を募集しています。当HPの医師募集、看護師募集のページをご覧ください。